

千葉マリーンズ杯争奪選手権大会

運営規定

令和元年版

1. 本大会の運営は、公認野球規則（日本野球規則委員会）、競技者必携（（公財）全日本軟式野球連盟）、千葉市少年軟式野球協会大会運営規定に従う他、以下の運営規定に従う。
2. 本大会に出場できるチームは、千葉市少年軟式野球協会所属区連の選抜選手により構成されたチームおよび協力市少年軟式野球連盟所属の選抜選手により構成されたチームとし、選手登録人数は18名以内とする。（抽選会後の変更登録は認めない。）
3. 出場チームは、試合開始予定時刻1時間前までに試合場に到着し、大会役員に届け出ること。
4. 出場チームが、試合開始予定時刻までに到着しない時は、原則として棄権とみなす。（大会本部で決定する。）
5. 千葉市少年軟式野球協会所定のメンバー表に、氏名はフルネームでふりがなを付して記入し、4部を大会本部へ提出する。
6. 試合中ベンチに入れる人数は、監督、コーチ3名、スコアラー1名、介護員の女性2名の計6名とする。（指導者の変更是事前に了解をとること。）
7. **試合時間は、1時間45分とする。＊但し、残5分以内は次イニングに入らない。**
8. 試合は、時間内7回戦とし、延長は時間内9回までとする。終了時同点の場合は抽選とする。但し、決勝戦は勝敗が決するまでタイブレークを行う。
9. 投手一人の投球回数は2イニングとする。
10. **ベンチ入りした登録選手は必ず一度、打席および守備に出場すること。**
11. 墓間は23メートル、本塁から投手板までの距離は16メートル（公認野球規則）とする。ベースは移動ベースを使用する。
12. シートノックは、1チーム5分以内とし、ノッカーに対する背後からのボールの手渡しは、危険防止の為、禁止する。捕手（控え捕手も含む）は、マスク（スローガード付）、レガース、プロテクター、ファールカップ、ヘルメットを使用すること。投球練習時も同様とする。
13. ベンチは、抽選番号の若い方を一塁側とする。攻撃順は、メンバー表提出時に決める。
14. 背番号については、監督30番、コーチは29番、28番、27番とし、選手は1番から18番までとする。主将は10番とする。
背番号は千葉市少年軟式野球協会より貸与されたものをする。
15. 試合中抗議のできる者は、監督と当該選手とする。

試合中のタイムは5回（攻守交代）以内とし、スピーディーな試合進行に協力すること。但し選手交代の場合は含まない。

16. 準備投球は5球以内、救援投手および2回以降は3球以内とする。
17. ファールボールは、一塁側方向は一塁側ベンチが、三塁方向は三塁側ベンチが処理する。
18. 各チームの応援団、ベンチは相手チームの気分を害さないよう少年野球に相応しい応援で望むこと。
19. 応援については、チーム監督が責任をもつ。特に選手、審判等に対する野次、その他、品位を欠く言動は厳に慎むこと。違反した場合は必要な処置をとる。
20. 試合球は、全日本軟式野球連盟公認球「J号球」とし、金属バットは「J S B B」マーク入りの公認のものを使用し、一体化されたもののみとする。
21. ヘルメットは「J C B B」マイク入りで両側にイヤーラップの付いたものを用意し、打者、次打者、走者、ランナーズコーチャーおよびボールボーイが着用すること。
22. 選手の手袋使用は認めるが投手の手袋使用は認めない。
23. 選手、指導者のリストバンド等の使用は認めない。またサングラス等の着用は、原則認めない。
24. 審判は、千葉市少年軟式野球協会および協力市少年軟式野球連盟所属の審判員が行う。
25. 試合を行うチームは、救急箱を必携すること。また、ゴミ袋を用意し、使用球場の美化に努めグランドの整備も行う。
26. チームの責任者は、各区会長とし上記運営規定を「厳守」すること。